

つよく・やさしく・心をこめて

# 三勲小だより



平成30年9月7日（金）

## <2学期もよろしくお祈りします>

この夏は、西日本豪雨、猛暑、台風と、災害や異常気象でたいへんな日々が続きました。豪雨から二ヶ月が経ちましたが、被害にあわれた方の生活の再建やインフラなどの復旧にはまだまだ時間がかかりそうです。一日も早い復興を心から願うばかりです。

さて、夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声に戻ってきました。図工の作品など、大きな荷物を抱えて久しぶりに登校してきた子どもたちは、なんだか一回り大きくなったように感じました。頑張ったこと、楽しかったことなど、きつとたくさんの思い出ができたことでしょう。これから始まる2学期は、いろいろな行事があり、学習にも集中して取り組むことのできる、学年の中心となる学期です。まだまだ暑い日が続きます。子どもたちの体調には十分に気をつけながら、実りの多い学期になるよう教職員一同努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈りいたします。

## <2学期の主な行事>

- 9/ 6 (木) 6年救命講習会
- 9/13 (木) 2年校外学習 (県立図書館)
- 9/14 (金) 三勲祭り
- 9/16 (日) 三勲学区運動会
- 9/19 (水) 1年フアジャーノ特別授業
- 9/21 (金) 避難訓練 (不審者対応)
- 9/25 (火) 参観日
- 9/27 (木) 1年昔遊びの会
- 9/28 (金) 3年校外学習 (和菓子工場他)
- 10/ 5 (金) 2年校外学習 (シティミュージアム)
- 10/10 (水) ~11 (木) 6年修学旅行
- 10/12 (金) 5年校外学習 (JFE)
- 10/16 (火) 鑑賞教室
- 10/18 (木) 1年校外学習 (池田動物園)
- 10/19 (金) 友愛セール
- 10/30 (火) 能校内発表会
- 11/ 1 (木) ~2 (金) 4年山の学校
- 11/ 8 (木) 能後楽園発表会
- 11/10 (土) 学習発表会 (1年~5年) 参観日 (6年)
- 12/ 4 (火) 参観日
- 12/20 (木) 給食最終・町別児童会
- 12/21 (金) 2学期終業式



## <始業式の話> 暑さのためTV放送で行いました。

おはようございます。元気な皆さんに会えて、校長先生はとてもうれしく思ひます。

さて、1学期の終業式で校長先生は化石を見せて興味のあることを調べたりいろいろな本を読んだりして長い休みでなくてはできないことに挑戦しました。ようねとお話しましたが、しっかりできましたか。

いよいよ2学期が始まりました。2学期はとて長く12月まであります。その間には学習発表会や6年生の能の発表会などの行事があります。また少しずつ涼しくなって集中してよく勉強ができる、とてもいい季節になります。校長先生はこんな2学期に、皆さんに二つの幸せを感じてほしいと思ひます。幸せとはこんな漢字です。

(「幸」という字を見せる)

一つ目の幸せはできるようになる幸せです。昨日まで分からなかったことが分かるようになる、できなかったことができるようになる、できることが少しずつ増えてくる、そんな幸せを、自分で一生懸命努力したりお友達と一緒に考えたり協力したりしてしっかりと味わってほしいと思ひます。

二つ目の幸せは、自分だけでなく相手、つまり自分以外の人を幸せにする幸せです。

これを見てください。(「69906人」を見せる。)

何の人数か分かりますか。正解はこれです。(「ボランティア」を見せる。)

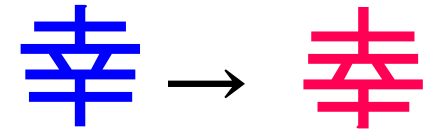
7月に大雨が降って岡山県では家が水に流されたり水に浸かったりして大きな被害が出ました。その後、たくさんの人が被害にあった人の家に行って、流れ込んだ土を取り除いたり使えなくなった家具を運び出したりお掃除をしたりしました。(写真を見せる) そんな人たちのことをボランティアといいます。この人数は大雨の次の日の7月7日から8月30日までに岡山県内でボランティアを行った人の合計の数です。三勲小学校の子ども全員の百倍以上ですね。ボランティアというのはボランタスという言葉が元になって「自分から進んで」という意味があります。ボランティアの人たちは、被害を受けた人のために、暑い中、汗びっしょりになって自分から進んで一生懸命働きました。

また、こんな話もありました。大雨で、あたり一面が海のようになっていたところでは、一階が水に浸かって、二階に避難した人がたくさんいました。その人たちは家から出られずに不安な気持ちで何時間も助けを待っていました。そんな時に、自宅でおにぎりを約500個もつくり、ボートに積んで、二階に逃げた人たちに届けた町内会の人たちがいました。その人たちは「助けたいという思いが強くて、

体が勝手に動いていた」そうです。おにぎりを受け取った人は「パニックに陥っていたけれど、おにぎりをもらって気持ちが落ち着いた」と話していました。このようにみんなが協力して人の命が助かったということもあったのです。

皆さんも誰かが困っていたら、きつと助けることができると思ひます。夏休みに皆さんはお家の人のために進んで働いたことでしょうか。学校でもどうやったら自分だけでなく他の人が幸せになるか考えて自分から進んで行動してみましよう。

自分の幸せだけでなく、相手も幸せになるとみんながうれしくなりますね。この漢字のように、自分だけでなく、困っている人がいないかなど、ぐるっと周りを見渡してみることも必要です。(「幸」という字を180度ひっくり返しても「幸」になることを見せる)



自分の幸せ + 相手の幸せ = みんなの幸せ

優しい言葉をかけたり人のためになることを考えたりするのもいいことです。学級の係や学年、学校の仕事も工夫したらみんなが楽しく幸せになりますね。2学期の始まりに当たり、皆さんの幸せを願って話をしました。

次に、皆さんに悲しいお知らせがあります。三勲学区連合町内会長の渡邊盛幸さんが、8月の末にお亡くなりになりました。渡邊さんは、登下校の見守り、昔遊びの先生、三さんクラブのお世話など皆さんのためにいろいろなことをしてくださいました。6年生の人は1学期に岡山空襲のお話も聞かせていただきましたね。渡邊さんは子どもが大好きで、いつも皆さんに優しく声をかけてくださいました。もうお会いできないと思うと、とても悲しいですね。今までありがとうございましたという気持ちでみんなでご冥福をお祈りしましょう。そして渡邊さんに喜んでいただけるように、これからも仲よく一生懸命勉強して、いい三勲小学校をつくっていきましょうね。

これで校長先生のお話を終わります。

渡邊会長さん、今まで本当にありがとうございました。

これからもずっと三黜の子どもたちを見守ってください。